

【スローガン】 集え、立ち上がれ、進め、チームOT！ ～あらゆる垣根を超えた全世代型の組織を目指して～

【最上位目的】  
 すべての国民に対して、作業療法の最良の質と量を提供できる体制の整備をさらに促進する。協会の執行体制と事務局の構造改革、都道府県士会や養成校等との緊密な連携を通して、一体感をもった専門職集団の全世代型連帯を創ること

中位目的	下位目的	具体的取組	(委員会) 担当部署	具体的取組達成までの工程表						達成率の示せる成果指標・活動指標と最終評価			
				5年間の事業						具体的取組		下位目的	
				前期		中間評価	後期		成果指標・活動指標		最終評価		
				2023	2024	2025	達成率(%) 又は達成状況	2026	2027	説明	目標とする達成率(%) 又は達成状況	達成率(%)又は達成状況	最終評価
【上位目的1】 協会・都道府県士会・学校養成施設等の相互の連帯を強化													
1 日本作業療法士協会及び都道府県作業療法士会 48 団体連携協議会（よんぱち）の創立と運営													
1) 会長会議の準備を行う幹事会の機能の安定化													
	1	安定した幹事会機能の構築	*	議案が「情報共有・提供」「意見交換」など分類できる。	準備段階での「協会と士会」の打ち合わせ機能が安定する。	必要に応じて幹事会以外のWGも活用できる。		安定した運営の継続	安定した運営の継続	案件として挙げたことが整うこと。(前回協議会の案件を次回協議会で確認。放置される案件が0件であること)	100%		
2 協会員＝士会員のシステム本格化と安定													
1) 「協会員＝士会員」実現のための運用制度とシステムの整備													
	1	新士会システムの構築と安定的な運用	*	「協会員＝士会員」の運用制度を確定させ、それを基に新士会システムの仕様を検討・確定	新士会システム3次開発の論理設計、構築、テストを実施		新士会システムを稼働開始させ、「協会員＝士会員」の制度を安定的に運用	新士会システムが完成し、「協会員＝士会員」の制度が安定的に運用されること	左に同じ				
3 生涯教育の充実化に向けた制度の再構築													
1) 新しい生涯学修制度の整備													
	1	新しい生涯学修制度の推進と生涯教育の運用を強化	教育部	会員への新しい生涯学修制度の周知及び理解促進を図る	新しい生涯学修制度の運用を開始		旧生涯教育制度から新しい生涯学修制度への移行を推進	新入会員の受講率	受講率6割を目指す				
2) 教育コンソーシアムの創設と推進													
	1	教育コンソーシアムの実現に向け関連する機関と連携し推進に向けた調整とモデル事業の実施	教育部	教育コンソーシアムのあり方について課題を検討し関連機関との意見交換	教育コンソーシアムモデルの構築	教育コンソーシアムモデル事業の検討		教育コンソーシアムモデル事業を実施し課題を整理	教育コンソーシアムモデル事業の推進	モデル事業の拡大	モデル事業を実施する(100%)		

4 中位目的 4) 作業療法士を目指す人の増加

1) 協会・都道府県士会・学校養成施設との連携を構築

1	都道府県士会広報部・学校養成施設連絡会との連携	広報部・教育部	都道府県士会広報部・学校養成施設連絡会との会議開催、状況把握	都道府県士会広報部・学校養成施設連絡会との連携できるツールの検討・導入	目指す人向け広報状況把握連携ツールの運用・適宜会議開催		広報媒体の見直し・連携ツールの運用・適宜会議開催	広報媒体の見直し・連携ツールの運用・適宜会議開催	都道府県士会広報部・学校養成施設連絡会との連携ツールの構築・運用	※		
---	-------------------------	---------	--------------------------------	-------------------------------------	-----------------------------	--	--------------------------	--------------------------	----------------------------------	---	--	--

2) 広報媒体の拡充（小・中学生向け含む）

1	広報媒体の拡充（小・中学生向け含む）	※	小中学生向け広報媒体の需要調査・新規広報媒体開発	広報媒体の活用状況調査、ホームページリニューアル	広報媒体の活用状況調査、パンフレット改訂		新たな媒体の開発・広報媒体の活用状況調査、オーディオの見学ツアー改訂	新たな媒体の開発・広報媒体の活用状況調査	作業療法士を目指す人向け広報媒体複数作成	※		
---	--------------------	---	--------------------------	--------------------------	----------------------	--	------------------------------------	----------------------	----------------------	---	--	--

5 中位目的 5) WFOT, APOTRG 等国際機関との連携強化

1) WFOT および APOTRG 等との連携強化

1	WFOTおよびAPOTRG等の各種事業に参画し、国際的な情報を協会事業に反映	国際部	WFOTおよびAPOTRG等との連携強化のための計画の策定	WFOTCM出席やAPOTC2024開催を機会に、関係者と連携強化計画について協議	連携強化計画の開始		連携強化計画の見直し	連携強化事業の継続運用で、協会事業との連携を確認	WFOTおよびAPOTRG等の各種事業に参画し、協会事業（会員サービス向上）との連動を図る（連携の有無・件数）	1)100% 2)WFOTおよびAPOTR加盟国等の各種事業に参画し、協会事業との連携事業を実施する。		
---	--	-----	-------------------------------	---	-----------	--	------------	--------------------------	---	--	--	--

2) 日本在住の海外作業療法士免許取得者等の現況調査と人材の発掘

1	日本在住の海外作業療法士免許取得者が協会事業に参画する体制を構築	国際部	日本在住の海外作業療法士免許取得者等の現況調査の準備・実施	日本在住の海外作業療法士免許取得者等の協会事業参画方法の検討	日本在住の海外作業療法士免許取得者等の協会事業に参画の開始		日本在住の海外作業療法士免許取得者等の協会事業に参画の見直し	日本在住の海外作業療法士免許取得者が協会事業に参画する体制を構築	日本在住の海外作業療法士免許取得者が協会事業に参画する体制を構築と参画状況（人数・件数）	1)100% 2)対象者の会員資格の規則の運用を開始する。		
---	----------------------------------	-----	-------------------------------	--------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	----------------------------------	--	----------------------------------	--	--

※未記載欄(後日記載予定)

【スローガン】 集え、立ち上がれ、進め、チームOT！ ～あらゆる垣根を超えた全世代型の組織を目指して～

【最上位目的】  
 すべての国民に対して、作業療法の最良の質と量を提供できる体制の整備をさらに促進する。協会の執行体制と事務局の構造改革、都道府県士会や養成校等との緊密な連携を通して、一体感をもった専門職集団の全世代型連帯を創ること

中位目的	下位目的	具体的取組	(委員会) 担当部署	具体的取組達成までの工程表						達成率の示せる成果指標・活動指標と最終評価			
				5年間の事業						具体的取組		下位目的	
				前期		中間評価	後期		成果指標・活動指標		最終評価		
				2023	2024	2025	達成率(%) 又は達成状況	2026	2027	説明	目標とする達成率(%) 又は達成状況	達成率(%)又は達成状況	最終評価

【上位目的2】 入会者の増・退会者の減を目指す

1 入会促進の体制整備と対策強化

1) 年間入会者500名増※を目指す

※5年平均値に近づけるための数値  
 ※2021年度との比較数値

番号	具体的取組	(委員会) 担当部署	委員会設置 ・理念の共有及び方向性の確認 ・各事業の方針の策定	事業進捗確認 ・各事業の方向性検討	事業進捗確認 ・中間評価に向けたとりまとめ ・目標設定	中期5か年戦略もしくは、既存部署への移行等の方針を検討	方針に沿った次年度への準備	委員会の設置 ・方針の提案 ・次期計画への提案	達成率	最終評価
1	職能（協会=士会）、学校養成施設、職域が一体となって課題に取り組む体制を構築	※							100%	
2	協会と都道府県士会が連携し、各士会の状況にあった事業を検討し、運用	※	WGの立ち上げ検討 ・モデル事業の検討	モデル事業の検討と募集、実施に向けた準備	モデル事業の実施	モデル事業の実施	モデル事業の汎化を検討	都道府県別入会者数の増減 ・モデル事業の実施 ・事業モデルの提案	100%	
3	協会と学校養成施設が連携し、学生への理解を促す事業を検討し、運用	教育部	WGの立ち上げ検討 ・学校養成施設連絡会での情報交換	学生への教育の推進 ・学生への協会広報の検討	学生への教育の推進 ・学生への協会広報の検討と実施	学生への教育の推進 ・学生への協会広報活動の実施	学生への教育の推進 ・学生への協会広報活動の実施 ・事業継続の有無と効果の検討	協会入会説明事業実施校の増減 ・学校別入会率の平均値の増減	100%	
4	協会と職域が連携し、現状の把握と職域における課題解決に向けた事業を検討し、運用	※	WGの立ち上げ検討 ・職域現状調査の検討	現状調査の実施 ・課題の整理と事業案の検討	事業実施	事業実施	事業実施 ・事業の継続有無と効果の検討	新卒以外の新規入会者数、再入会者数の増減	100%	

2) 非会員等への入会促進の体制づくり

1	協会の情報を受け取れる体制を構築し、入会及び再入会しやすい環境を検討	※	現状調査の検討	協会と職域の連携体制を活用し、情報配信体制を構築 ・入会・再入会への課題整理	情報配信の実施 ・再入会の手続き等の変更を提案 ・入会を促す広報の検討	情報配信の実施 ・新しい再入会手続き等の運用 ・入会を促す広報の実施	情報配信の実施 ・新しい再入会手続き等の運用と見直し ・入会を促す広報の実施	情報配信体制の構築 ・手続き等の変更提案 ・広報の実施	100%	
---	------------------------------------	---	---------	---	---	--	--	-----------------------------------	------	--

2 退会率を抑制する体制づくりを強化

1) 年間退会者500名減を目指す

※5年平均値に近づけるための数値  
※2021年度との比較数値

1	職能（協会=士会）、学校養成施設、職域が一体となって課題に取り組む体制を構築 ※中1）-1と同様	※	・委員会の設置 ・理念の共有及び方向性の確認 ・各事業の進捗確認	・事業進捗確認 ・中間評価に向けたとりまとめ ・目標設定の		・次期5か年戦略もしくは、既存部署への移行等の方針を検討	・方針に沿った次年度への準備	・委員会の設置 ・方針の提案 ・次期計画への提案	100%		
2	協会と都道府県士会が連携し、各士会の状況にあった事業を検討し、運用	※	・WGの立ち上げ検討 ・モデル事業の検討	・モデル事業の検討と募集、実施に向けた準備 ・モデル事業の実施		・モデル事業の実施	・モデル事業の汎化を検討	・都道府県別退会者数の増減 ・モデル事業の実施 ・事業モデルの提案	100%		
3	協会と職域が連携し、現状の把握と職域における課題解決に向けた事業を検討し、運用	※	・WGの立ち上げ検討 ・職域現状調査の検討	・現状調査の実施 ・課題の整理と事業案の検討 ・事業実施		・事業実施	・事業実施 ・事業の継続有無と効果の検討	・都道府県別退会者数の増減 ・課題の整理 ・事業の提案 ・事業の実施	100%		
4	定点的な会員ニーズの調査を行うとともに、入会・退会時の会員状況をデータとして蓄積する体制を構築・運用する。会員のニーズや現状に合った会員サービスを拡充し、試行的に実施	※	・定点的会員ニーズ調査の検討と実施	・入会、退会時の会員の現状把握体制の検討 ・現状の会員サービスの見直し ・入会、退会時の会員の現状把握体制の検討 ・会員サービスの拡充の提案		・会員サービスの実施	・会員サービスの実施と見直し	・ニーズ調査の実施 ・データ蓄積体制の構築 ・データ蓄積体制の運用 ・会員サービスの提案 ・会員サービスの実施	100%		
5	会員・非会員の協会活動等の理解を促進するため、情報提供体制を構築	※	・状況整理と理念の確認	・情報配信内容の検討 ・情報提供体制の見直し ・情報配信の実施		・情報配信の実施	・情報配信の実施と見直し	・広報戦略の作成 ・情報配信体制の検討 ・情報配信の実施 ・次期会員ニーズ調査項目の回答数	100%		

2) 会費未納会員に対する分析、集金体制の検討等

1	会費未納の原因を調査し、その課題解決に向けた事業を検討	※	・原因調査の検討	・未納となる原因に対する課題を整理し事業を計画 ・事業の実施		・事業の実施	・事業の実施と体制の見直し	・課題の整理 ・事業の提案 ・事業の実施	100%		
---	-----------------------------	---	----------	-----------------------------------	--	--------	---------------	----------------------------	------	--	--

※未記載欄(後日記載予定)

【スローガン】 集え、立ち上がれ、進め、チームOT！ ～あらゆる垣根を超えた全世代型の組織を目指して～

【最上位目的】  
 すべての国民に対して、作業療法の最良の質と量を提供できる体制の整備をさらに促進する。協会の執行体制と事務局の構造改革、都道府県士会や養成校等との緊密な連携を通して、一体感をもった専門職集団の全世代型連帯を創ること

中位目的	下位目的	具体的取組	(委員会) 担当部署	具体的取組達成までの工程表						達成率の示せる成果指標・活動指標と最終評価			
				5年間の事業						具体的取組		下位目的	
				前期		中間評価		後期		成果指標・活動指標		最終評価	
				2023	2024	2025	達成率(%) 又は達成状況	2026	2027	説明	目標とする達成率(%) 又は達成状況	達成率(%)又は達成状況	最終評価

【上位目的3】 新体制への移行とその安定した運用

1 法人ガバナンスの強化

1) 新体制における役員体制の運用の定着

1	2025年度に新体制に完全移行できるための現状の点検、問題点の確認、検討、対策、準備	理事会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たに選任された役員で運用を開始</li> <li>・運用上問題が生じれば適時検討・解決を図る</li> <li>・部長等の兼務が残っている場合、その解消に向けて検討を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運用上問題が生じれば適時検討・解決を図る</li> <li>・部長等の兼務が残っている場合、次年度から解消すべく具体的な人選を進める</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>・運用の定着</li> <li>・運用の定着</li> </ul>	新体制における役員体制の運用が無理なく順調に行われること	左に同じ		
---	--	-----	---	---	--	--	--	--	--	------------------------------	------	--	--

2) 関連諸規程を整備と指揮命令系統の明確化

1	新体制の理念と運用に照らした諸規程全体の点検と整合性の確認	事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度までに改定した定款・諸規程で運用する</li> <li>・改定が間に合っていない諸規程についても順次検討し改定する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運用に合わせて見直し、必要な改定は随時行っていく</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>・新体制における諸規程を一旦確立させる</li> </ul>	新体制の運用と関連諸規程が矛盾や齟齬のない状態になること	左に同じ		
---	-------------------------------	-----	---	---	--	--	--	--	--	---	------------------------------	------	--	--

3) 理事会の諮問機関としての委員会等の設置の定着

1	委員会等の組織上の位置づけの明確化と設置の手続き（規程の整備、理事会での発議・承認など）の定常化	委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理事会の諮問機関としての位置づけについて認識を共有して運用を開始する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運用の定着を図る</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>・運用の定着を図る</li> </ul>	委員会等が理事会の諮問機関として機能し、事務局の支援によって安定的に運用されていること	左に同じ		
---	--	-----	---	---	--	--	--	--	--	---	---	------	--	--

2 事務局を中心とした協会体制の整備

1) 事務局組織の改編と新体制での安定した運営

事務局組織の改編と新体制での安定した運営	※	・新体制で運営開始	・必要な調整を行う	・新体制への完全移行				新しい事務局組織体制で安定した会務運営が行われていること	左に同じ		
----------------------	---	-----------	-----------	------------	--	--	--	------------------------------	------	--	--

2) 管理職の雇用・登用による事務局の管理体制の整備

管理職（事務局長・部長等）の雇用・登用	※	・事務局長の雇用 ・部長等の雇用・登用 ・部長等の兼務理事は最小限に抑える	・部長等の雇用・登用 ・部長等の兼務理事を減少させる	・部長等の雇用・登用 ・部長等の兼務理事の廃止				管理職の雇用・登用が進み、安定した職務管理が行われていること	左に同じ		
---------------------	---	---	-------------------------------	----------------------------	--	--	--	--------------------------------	------	--	--

3) 雇用された職員と委嘱された部員による各部署の運営体制の定着

雇用された職員と委嘱された部員による各部署の運営体制の定着	※	・可能な範囲で職員を漸次増員 ・新体制で運営開始し、適宜調整	・可能な範囲で職員を漸次増員 ・新体制への完全移行	・可能な範囲で職員を漸次増員 ・新体制への完全移行				新しい事務局体制で安定した会務運営が行われていること	左に同じ		
-------------------------------	---	-----------------------------------	------------------------------	------------------------------	--	--	--	----------------------------	------	--	--

※未記載欄(後日記載予定)